



TITLE:

執筆者一覧

AUTHOR(S):

CITATION:

執筆者一覧. CIAS discussion paper No.60 : たたかうヒロイン--混成アジア映画研究2015 2016, 60: 111-112

ISSUE DATE:

2016-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/228668>

RIGHT:

© Center for Integrated Area Studies (CIAS), Kyoto University

執筆者一覧

山本 博之(やまもと ひろゆき)

京都大学地域研究統合情報センター准教授。専門はマレーシア地域研究／現代史。研究テーマは、イスラム教圏東南アジアの民族と政治、アジアの災害対応、地域研究方法論。著書に『脱植民地化とナショナリズム——英領北ボルネオにおける民族形成』(東京大学出版会、2006年)、編著書に *Bangsa and Umma: Development of People-grouping Concepts in Islamized Southeast Asia* (Kyoto University Press, 2011) がある。

平松 秀樹(ひらまつ ひでき)

京都大学文学部卒、チューラーロンコーン大学大学院比較文学科修士課程修了、博士(文学、大阪大学)。専門は、タイ文学・文化、日タイ比較文学・比較文化、タイ地域研究。タイ国仏教教理三級国家試験(ナックタム・トゥリー)合格。大阪大学・チューラーロンコーン大学非常勤講師。

坂川 直也(さかがわ なおや)

ベトナムを中心に、東南アジアの映画史について調査している。関連する文章には「ベトナム 革命イデオロギーから夢と笑いへ——B級映画都市サイゴンの復活」(『地域研究』13(2)、2013年)、「ベトナム映画の今」(第11回大阪アジア映画祭パンフレット)などがある。

小池 誠(こいけ まこと)

桃山学院大学国際教養学部教授。専門は文化人類学で、研究テーマは家族・親族とメディアのグローバル化。1985年から88年にインドネシア東部のスンバ島で調査。その後、台湾で働くインドネシア人労働者の調査とともに、インドネシアのポピュラー文化、とくに映画と音楽の研究を進める。著書に『インドネシア——島々に織りこまれた歴史と文化』(三修社、1998年)と『東インドネシアの家社会——スンバの親族と儀礼』(晃洋書房、2005年)。

福岡 まどか(ふくおか まどか)

大阪大学大学院人間科学研究科准教授。専門は民族音楽学、人類学。インドネシアを中心として東南アジアの演劇、音楽、舞踊の研究に従事。主な研究テーマは(1)インドネシアの伝統的・現代的上演芸術におけるジェンダー表現と身体表象、(2)東南アジアのポピュラーカルチャーとアイデンティティ、(3)上演芸術のわざの伝承。著書に『ジャワの仮面舞踊』(勁草書房、2002年)、『性を超えるダンサー デイディ・ニニ・トウォ』(めこん、2014年)など。

篠崎 香織(しのぎ かおり)

北九州市立大学外国語学部准教授。専門はマレーシア地域研究。マラヤ地域(マレーシア半島部+シンガポール)の華人社会を中心に、マレーシア地域の政治・文化・歴史を研究。主な著書に「マレーシア——『民族の政治』に基づく民主主義」(清水一史・田村慶子・横山豪志編著『東南アジア現代政治入門』ミネルヴァ書房、2011年)、「継承と成功——東南アジア華人の『家』づくり」(『地域研究』13(2)、2013年)など。マレーシア映画文化研究会／混成アジア映画研究会幹事。

西 芳実(にし よしみ)

京都大学地域研究統合情報センター准教授。インドネシアを中心に多言語・多宗教地域の紛争・災害対応過程を研究。主著は『災害復興で内戦を乗り越える——2004年スマトラ島沖地震・津波とアチェ紛争』(京都大学学術出版会、2014年)。映画関連では「信仰と共生——バリ島爆弾テロ事件以降のインドネシアの自画像」や「世界にさらされる小さな英雄たち」(共に『地域研究』13(2)、2013年)。映画で東南アジア社会の課題共有をはかるシネアドボ・ワークショップにも取り組む。

岡田 知子(おかだ ともこ)

東京外国語大学総合国際学研究院准教授。専門はカンボジア文学・文化。共編著書に『カンボジアを知るための62章』(明石書店、2012年)、『世界を食べよう!』(東京外国語大学出版会、2015年)、翻訳に『追憶のカンボジア』(同出版会、2014年)、『萎れた花・心の花輪』(大同生命国際文化基金、2015年)など。

長田 紀之(おさだ のりゆき)

日本貿易振興機構アジア経済研究所地域研究センター研究員。1980年生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科修了。英領期ミャンマーの移民統制と都市社会に関する博士論文が第14回アジア太平洋研究賞受賞(2015年)。共著書に『ミャンマーを知るための60章』(明石書店、2013)、『アジア動向年報2015』(アジア経済研究所、2015)等がある。

橋本 彩(はしもと さやか)

1975年生まれ。早稲田大学大学院人間科学研究科博士後期課程満期修了退学(博士、人間科学)。現在、東京造形大学助教。専門は、スポーツ人類学、文化人類学。博士論文では、雨季明けにメコン川で行なわれるラオス競漕祭の歴史的変容を「伝統」と「スポーツ」の観点から分析。

亀山 恵理子(かめやま えりこ)

奈良県立大学地域創造学部教員。専門分野は国際開発協力論、地域研究。主な著作に、『『小さな物語』をつなぐ方法——一九七五～九九年東ティモール紛争』(牧紀男・山本博之編著『国際協力と防災——つくる・よりそう・きたえる』京都大学学術出版会、2015年)、『インドネシア九・三〇事件と民衆の記憶』(ジョン・ローサほか編、明石書店、2009年、翻訳)。

CIAS Discussion Paper No. 60

山本 博之・篠崎 香織 編著

たたかうヒロイン——混成アジア映画研究2015

発 行 2016年3月

発行者 京都大学地域研究統合情報センター

京都市左京区吉田下阿達町46 〒606-8501

電話: 075-753-9603 FAX: 075-753-9602

E-mail: ciasjimu@cias.kyoto-u.ac.jp

<http://www.cias.kyoto-u.ac.jp>